

# 第3期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針

令和4年4月

企画部

## 1 総合戦略の策定趣旨

第2期総合戦略では、第1期総合戦略で根づいた地方創生の意識や取組を引き継ぎ、関係人口の創出・拡大や Society5.0などの新たな視点に重点を置いて施策を推進することで、持続可能なまちの創造に向けた「オーガニックなまちづくり」のステップアップを図ってきました。

このようななか、令和4年度をもって第2期総合戦略の計画期間が満了することから、国、県の動向や本市を取り巻く環境の変化を踏まえ、第3次基本計画及び実施計画との整合を図りながら、令和5年度から令和8年度までの4年間を計画期間とする第3期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生のさらなる深化、加速化を図ります。

## 2 第3期総合戦略の策定における基本的な考え方

### (1) 国、県の総合戦略との関係

まち・ひと・しごと創生法第10条の規定により国、県が定める総合戦略を勘案しつつ、本市の実情と特性を踏まえた木更津市版総合戦略を策定します。

### (2) 第2期総合戦略からの深化、加速化

まち・ひと・しごと創生基本方針2021で国が示した「ヒューマン」、「デジタル」、「グリーン」という新たな3つの視点を取り入れ、地方創生の取り組みのさらなる深化、加速化を図ります。

### (3) 基本計画との一体化

総合戦略は、基本計画に位置付ける各施策の中から、地方創生の推進、目標達成に向けた戦略的な取り組みとして位置付けるものを整理して作成しています。

第3期総合戦略を策定するにあたっては、基本計画において総合戦略の内容がほぼ網羅されていること、また、令和4年度が第3次基本計画の策定年度でもあること、さらに、国から「総合計画等と総合戦略を一体化することは可能である」と示されていることから、基本計画と総合戦略を一体化して策定します。

## 3 策定体制

産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等の各団体や市民公募委員で構成する総合計画審議会や庁内各部等の次長級で構成する総合計画策定会議を中心に検討を進め、政策調整会議・総合政策会議を経て策定します。

#### 4 策定スケジュール

第3期総合戦略は第3次基本計画と一体化して策定するため、第3次基本計画の策定スケジュールに合わせて策定します。

#### 5 総合戦略の進行管理

取組結果については、毎年度終了後、施策毎に設定した成果指標の達成状況を踏まえた事後評価を実施し、必要に応じた見直しを行うことで施策の推進を図るとともに、速やかに公表します。

★第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)(内閣府:令和2年12月21日)

\*4つの基本目標

1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

\*2つの横断的な目標

1. 多様な人材の活躍を推進する
2. 新しい時代の流れを力にする

★「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」(内閣府:令和3年6月)

\*新たな3つの視点

1. ヒューマン(地方への人の流れの創出、人材支援)

- 地方創生テレワークの推進
- 企業の地方移転等の促進
- 地域への人材支援の充実
- 子育て世帯の移住等の更なる推進
- 関係人口の更なる創出・拡大
- 魅力ある地方大学の創出

2. デジタル(地方創生に資する DX の推進)

- 5G などの情報通信基盤の早期整備
- デジタル分野の人材支援
- データ活用基盤の整備
- DX 推進による地域課題の解決、地域の魅力向上

3. グリーン(地方が牽引する脱炭素社会の実現)

- グリーン分野の人材支援
- 関連情報の共有や官民協働の取組の推進
- 地方創生 SDGs 等の推進
- 地域社会・経済を支える分野における脱炭素化の取組の推進

★第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月)

\*基本目標

1. 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む
2. 多様な地域資源の循環によって、地域経済を活性化させる
3. 自然との共生をかなえる、アクアラインを活かした定住・交流を促進する
4. 市民力・地域力を高め、持続可能な自立するまちを構築する